

令和元年度  
全国学力・学習状況調査  
瀬戸内市の結果の概要

- 実施日 平成31年4月18日（木）
- 対象者 市内全小学校9校 第6学年児童 307名  
市内全中学校3校 第3学年生徒 289名
- 実施調査
- <小学校>  
国語、算数、児童質問紙、学校質問紙
- <中学校>  
国語、数学、英語、生徒質問紙、学校質問紙

令和元年9月

瀬戸内市教育委員会

# 学力調査結果の概要

## <小学校>

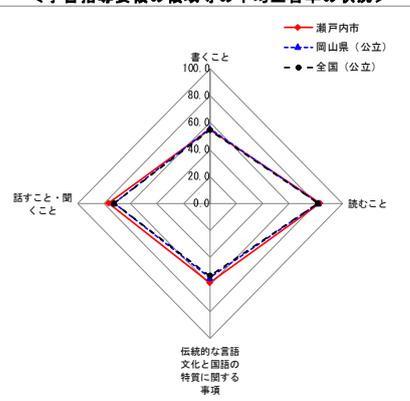
### 1 平均正答率

#### 【小6国語】

##### 集計結果

対象児童数		瀬戸内市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	
		306	16,270	1,028,203	
分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)		
			瀬戸内市	岡山県（公立）	全国（公立）
全体		14	67	64	63.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	76.4	71.9	72.3
	書くこと	3	54.8	55.7	54.5
	読むこと	3	82.7	81.5	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	58.6	54.9	53.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	59.8	57.5	57.6
	話す・聞く能力	3	76.4	71.9	72.3
	書く能力	3	54.8	55.7	54.5
	読む能力	3	82.7	81.5	81.7
	言語についての知識・理解・技能	5	58.6	54.9	53.5
問題形式	選択式	7	77.5	75.4	75.1
	短答式	4	53.3	50.4	48.7
	記述式	3	59.8	57.5	57.6

##### <学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>

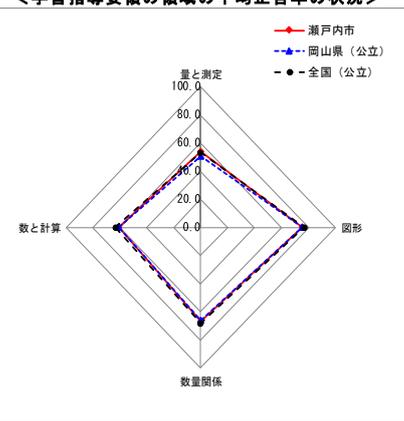


#### 【小6算数】

##### 集計結果

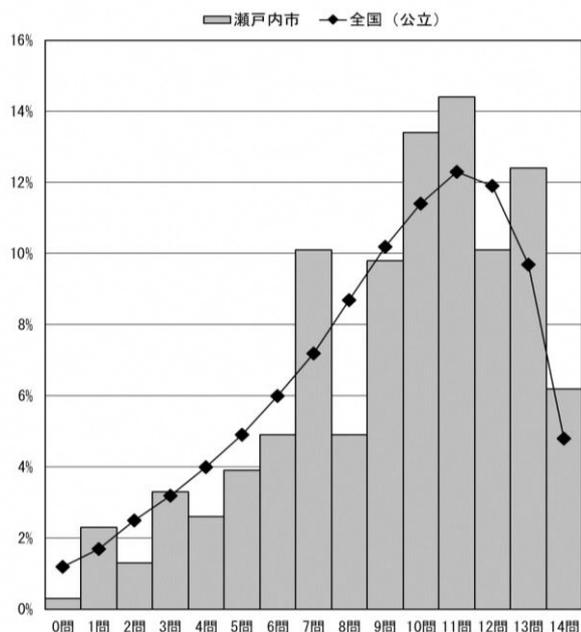
対象児童数		瀬戸内市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	
		307	16,276	1,028,177	
分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)		
			瀬戸内市	岡山県（公立）	全国（公立）
全体		14	66	65	66.6
学習指導要領の領域	数と計算	7	61.1	61.1	63.2
	量と測定	3	54.0	50.7	52.9
	図形	2	75.7	75.6	76.7
	数量関係	7	66.8	66.3	68.3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	8	62.9	60.5	62.2
	数量や図形についての技能	4	70.7	71.6	73.6
	数量や図形についての知識・理解	2	68.4	68.8	70.1
問題形式	選択式	5	75.1	74.5	75.7
	短答式	5	70.6	70.6	72.8
	記述式	4	48.5	45.6	47.4

##### <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

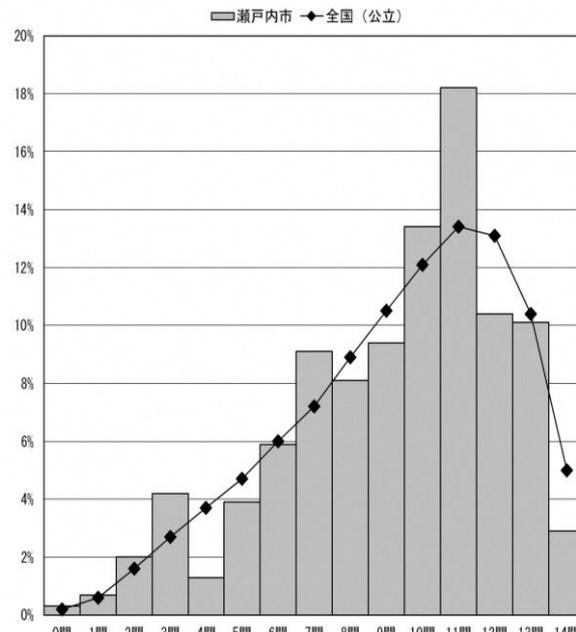


## 2 正答数相対度数分布表

#### 【小6国語】



#### 【小6算数】



# <中学校>

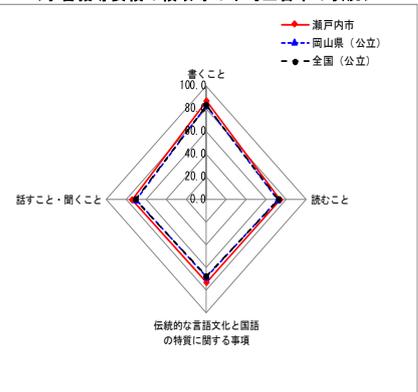
## 1 平均正答率

### 【中3国語】

#### 集計結果

対象生徒数		瀬戸内市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	
		289	15,125	938,797	
分類	区分	対象問題数	平均正答率（%）		
			瀬戸内市	岡山県（公立）	全国（公立）
全体		10	76	73	72.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	73.5	70.0	70.2
	書くこと	2	86.9	82.6	82.6
	読むこと	3	73.9	71.2	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	72.8	68.3	67.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	80.4	75.9	76.5
	話す・聞く能力	3	73.5	70.0	70.2
	書く能力	2	86.9	82.6	82.6
	読む能力	3	73.9	71.2	72.2
問題形式	言語についての知識・理解・技能	2	72.8	68.3	67.7
	選択式	6	75.8	73.3	73.6
	短答式	1	65.4	58.2	56.8
	記述式	3	80.4	75.9	76.5

#### <学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>

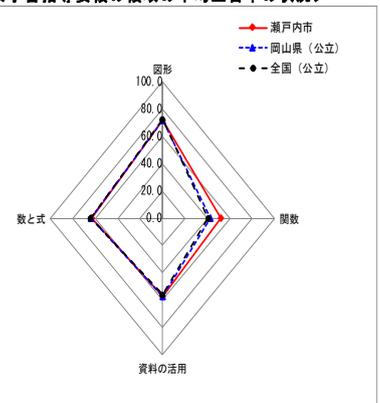


### 【中3数学】

#### 集計結果

対象生徒数		瀬戸内市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	
		289	15,135	938,887	
分類	区分	対象問題数	平均正答率（%）		
			瀬戸内市	岡山県（公立）	全国（公立）
全体		16	62	60	59.8
学習指導要領の領域	数と式	5	62.8	63.5	63.8
	図形	4	72.0	72.0	72.4
	関数	3	52.2	42.7	40.8
	資料の活用	4	57.8	57.2	56.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	8	54.9	50.5	51.0
	数学的な技能	3	64.2	65.6	63.9
	数量や図形などについての知識・理解	5	71.6	72.3	71.3
問題形式	選択式	5	62.6	61.1	60.3
	短答式	7	66.1	67.5	66.6
	記述式	4	53.5	46.0	47.1

#### <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

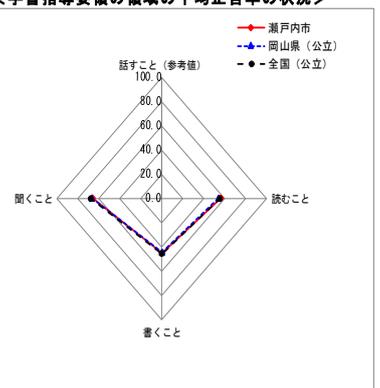


### 【中3英語】

#### 集計結果

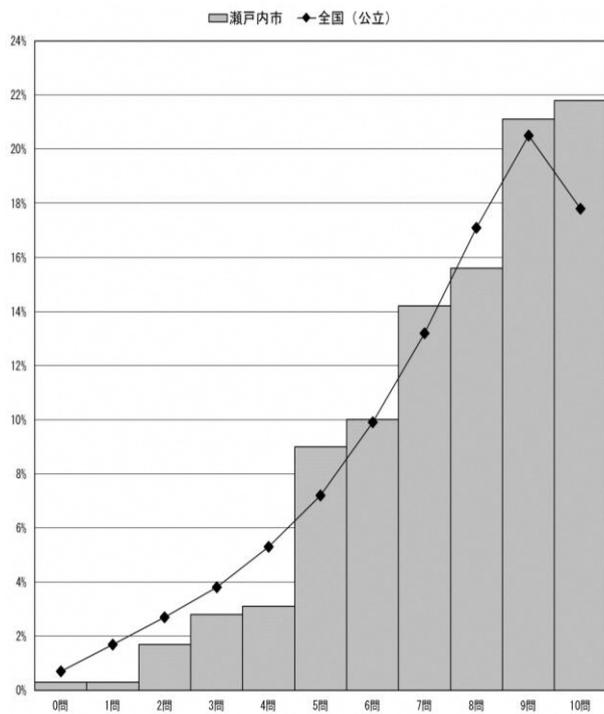
対象生徒数		瀬戸内市教育委員会	岡山県（公立）	全国（公立）	
		289	15,122	938,888	
分類	区分	対象問題数	平均正答率（%）		
			瀬戸内市	岡山県（公立）	全国（公立）
全体		21	55	54	56.0
学習指導要領の領域	聞くこと	7	65.9	66.3	67.9
	話すこと（参考値）				
	読むこと	6	56.5	54.1	55.6
評価の観点	書くこと	8	45.4	44.3	45.8
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	0			
	外国語表現の能力	1	2.4	1.8	1.8
	外国語理解の能力	6	43.4	43.0	44.7
問題形式	言語や文化についての知識・理解	14	64.4	63.1	64.7
	選択式	13	71.2	70.1	71.4
	短答式	5	44.4	42.9	45.2
	記述式	3	5.5	5.9	6.8

#### <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

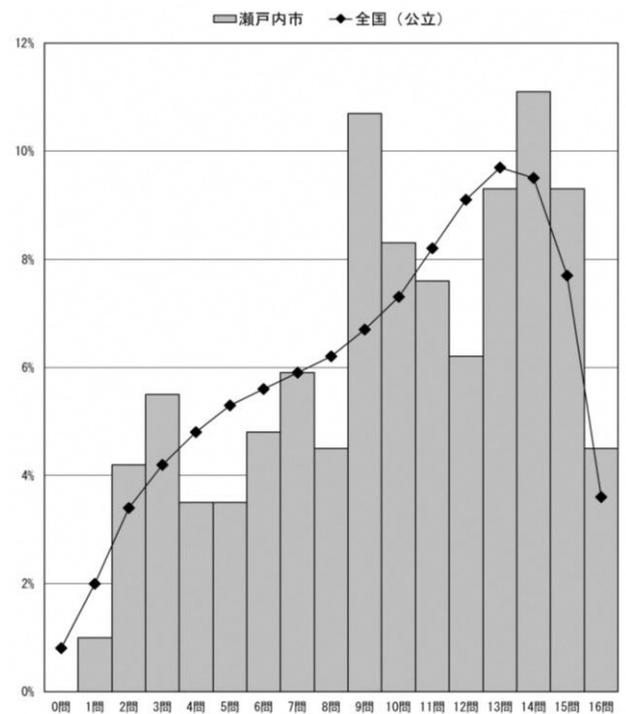


## 2 正答数相対度数分布表

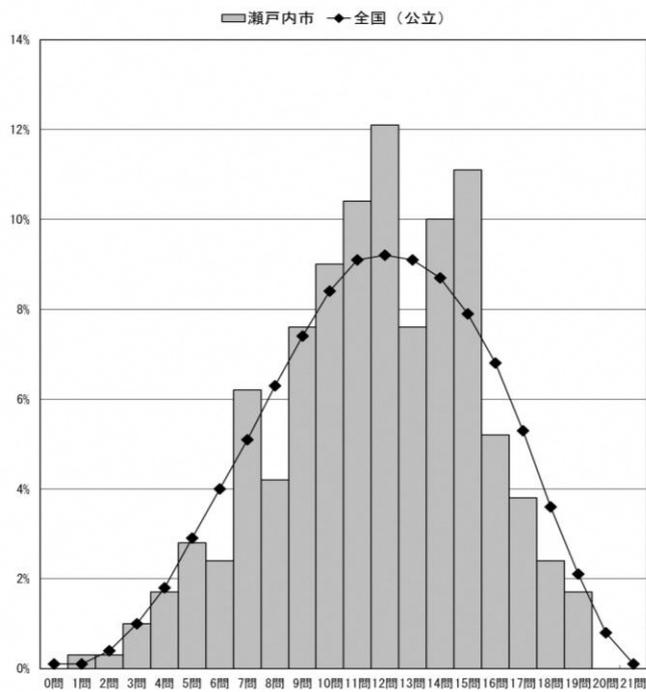
### 【中3国語】



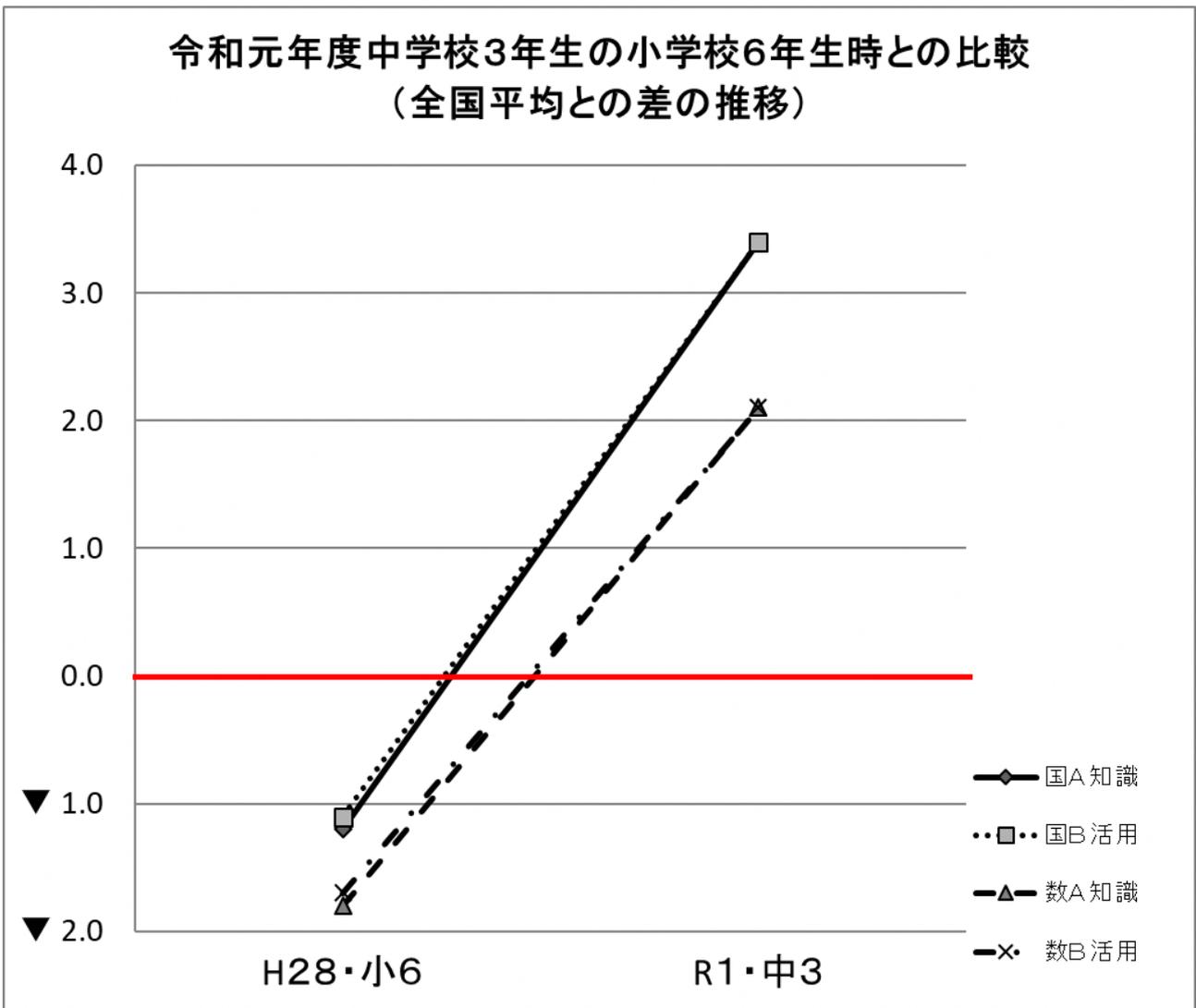
### 【中3数学】



### 【中3英語】



3 令和元年度中学校3年生の小学校6年生時との比較



	国語		算数・数学	
	国A知識	国B活用	数A知識	数B活用
H28・小6	▼ 1.2	▼ 1.1	▼ 1.8	▼ 1.7
R1・中3	3.4		2.1	

(R1 より知識・活用を一体的に問う出題に変更)

## 4 学力状況調査のまとめ

### <小学校国語>

#### 【成果】

#### ■小学校 国語「書くこと」

<平成30年度>

設問番号	設問の概要	正答率			無解答率		
		瀬戸内市	全国	差	瀬戸内市	全国	差
B2二	【おすすめする文章】の□に、むし歯を防ぐ効果について、【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く	10.4	13.3	-2.9	2.8	2.7	0.1



<令和元年度>

設問番号	設問の概要	正答率			無解答率		
		瀬戸内市	全国	差	瀬戸内市	全国	差
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	31.4	28.8	2.6	2.3	3.8	-1.5

#### 【課題】

- ・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫についての設問、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む設問において、全国の平均正答率を下回った。

### <小学校算数>

#### 【成果】

#### ■小学校 算数「割合」

<平成30年度>

設問番号	設問の概要	正答率			無解答率		
		瀬戸内市	全国	差	瀬戸内市	全国	差
A8	200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ	47.4	52.9	-5.5	5.5	4.6	0.9



<令和元年度>

設問番号	設問の概要	正答率			無解答率		
		瀬戸内市	全国	差	瀬戸内市	全国	差
2(2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く	76.9	78.6	-1.7	2.3	1	1.3

#### 【課題】

- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算で、大きく全国の平均正答率を下回り、示された除法の式の意味を問う設問、図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成する設問においても全国の平均正答率を下回った。

## <中学校国語>

### 【成果】

#### □中学校 国語「書くこと」

<平成30年度>

設問番号	設問の概要	正答率			無解答率		
		瀬戸内市	全国	差	瀬戸内市	全国	差
B3三	話のあらすじを学級に友達にどのように説明するかを書く	46.2	49.2	-3.0	14.0	12.4	1.6



<令和元年度>

設問番号	設問の概要	正答率			無解答率		
		瀬戸内市	全国	差	瀬戸内市	全国	差
3二	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える	84.1	77.8	6.3	4.5	7.9	-3.4

### 【課題】

- 全国の平均正答率を下回る設問はなかったが、文章の構成や展開、表現の仕方についての設問等、「読むこと」において若干課題がみられた。

## <中学校数学>

### 【成果】

#### □中学校 数学「関数」

<平成30年度>

設問番号	設問の概要	正答率			無解答率		
		瀬戸内市	全国	差	瀬戸内市	全国	差
B3(3)	A駅からの道のりが6 kmの地点において、列車Aが通ってから列車Bが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する	11.3	13.2	-1.9	38.5	33.4	5.1



<令和元年度>

設問番号	設問の概要	正答率			無解答率		
		瀬戸内市	全国	差	瀬戸内市	全国	差
6(2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	50.9	34.7	16.2	4.8	11.6	-6.8

### 【課題】

- 確率を求める設問、証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を問う設問において大きく全国の平均正答率を下回り、得られた数学的な結果を事象に即して解釈する設問、事柄が成り立つ理由を説明する設問においても全国の平均正答率を下回った。

## <中学校英語>

### 【成果】

- 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を書く設問で、大きく全国の平均正答率を上回り、日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を読み取る設問においても全国の平均正答率を上回った。

### 【課題】

- 一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を書く設問において、大きく全国の平均正答率を下回った。また、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を聞き取る等、「聞くこと」の設問においても全国の平均正答率を下回った。

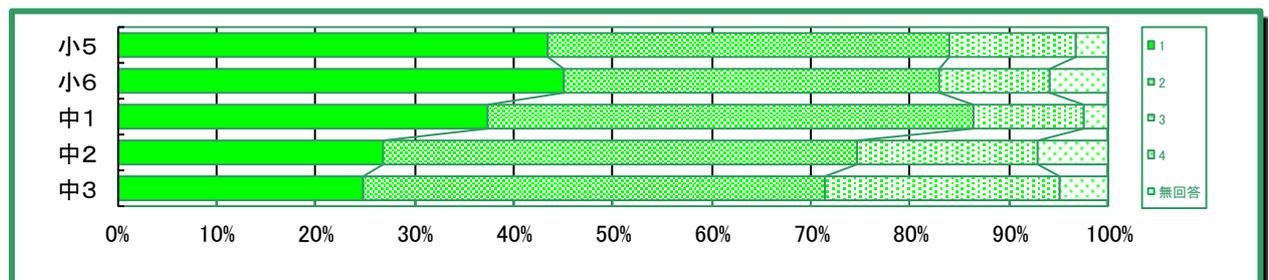
## 学習状況調査結果の概要

(※小5、中1、中2は岡山県学習状況調査の結果)

### 1 質問項目別の傾向

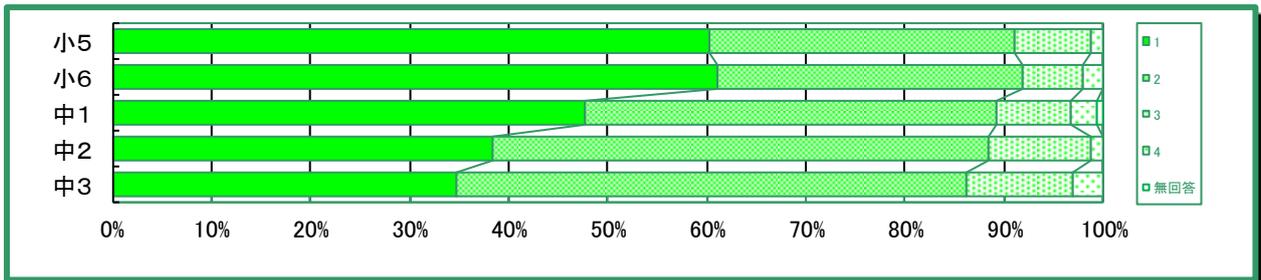
(ア) 自分には、よいところがあると思う。

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	無回答
小5	43.4	40.6	12.7	3.3	0.0
小6	45.1	37.9	11.1	5.9	0.0
中1	37.3	49.1	11.1	2.5	0.0
中2	26.9	47.8	18.2	7.1	0.0
中3	24.7	46.7	23.7	4.8	0.0



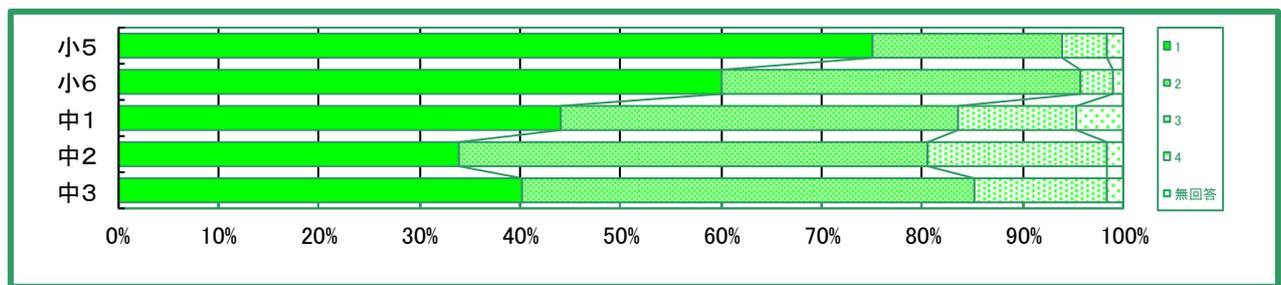
(イ) 先生は、あなたのよいところを認めてくれている。

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	無回答
小5	60.2	30.7	7.8	1.2	0.0
小6	61.1	30.7	6.2	2.0	0.0
中1	47.7	41.6	7.5	2.5	0.7
中2	38.3	50.2	10.3	1.2	0.0
中3	34.7	51.5	10.7	3.1	0.0



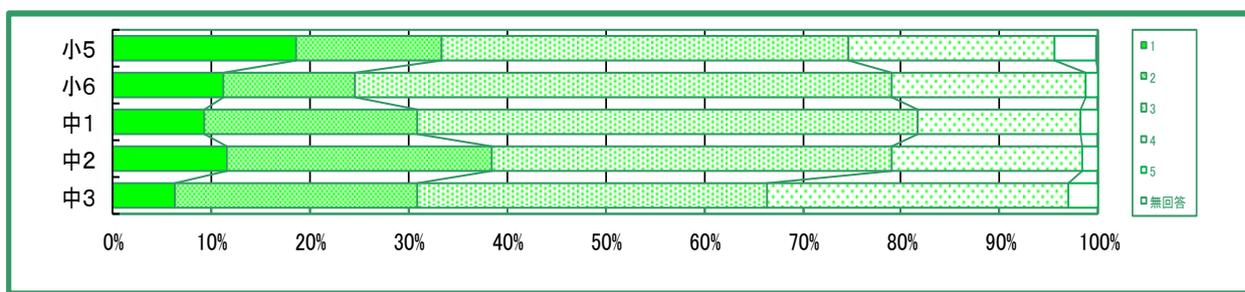
(ウ) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	無回答
小5	75.0	18.9	4.5	1.6	0.0
小6	60.1	35.6	3.3	1.0	0.0
中1	44.1	39.4	11.8	4.7	0.0
中2	34.0	46.6	17.8	1.6	0.0
中3	40.2	45.0	13.1	1.7	0.0



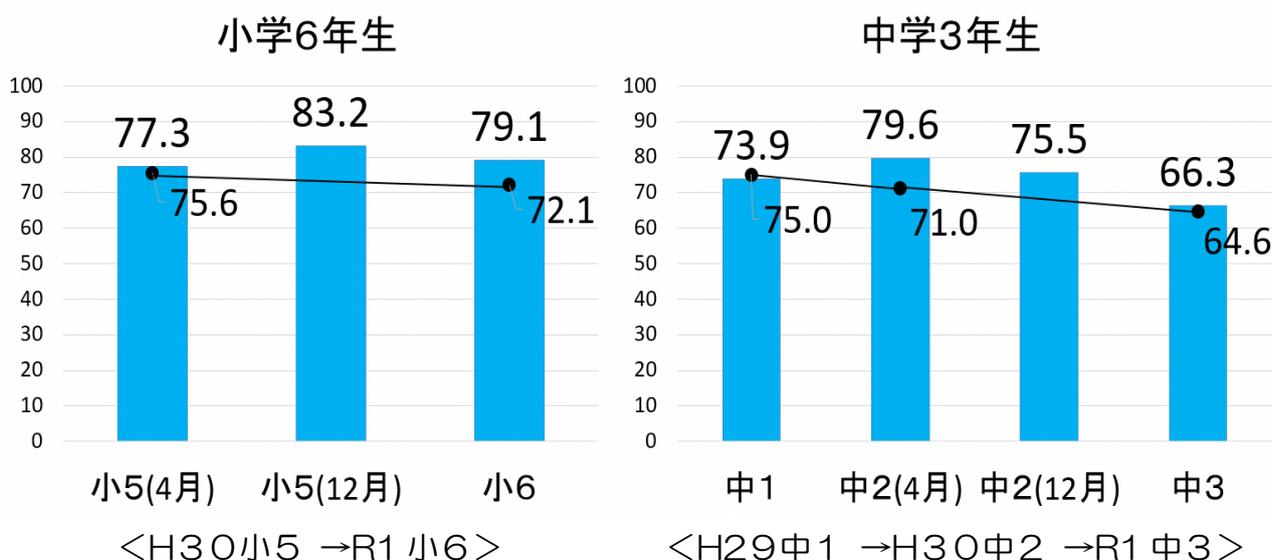
(工) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。）

	1 3時間以上	2 2時間以上 3時間より少ない	3 1時間以上 2時間より少ない	4 1時間より少ない	5 全くしない	6 無回答
小5	18.5	14.8	41.4	20.9	4.1	0.4
小6	11.1	13.4	54.6	19.6	1.3	0.0
中1	9.3	21.5	50.9	16.5	1.8	0.0
中2	11.5	26.9	40.7	19.4	1.6	0.0
中3	6.2	24.7	35.4	30.6	3.1	0.0

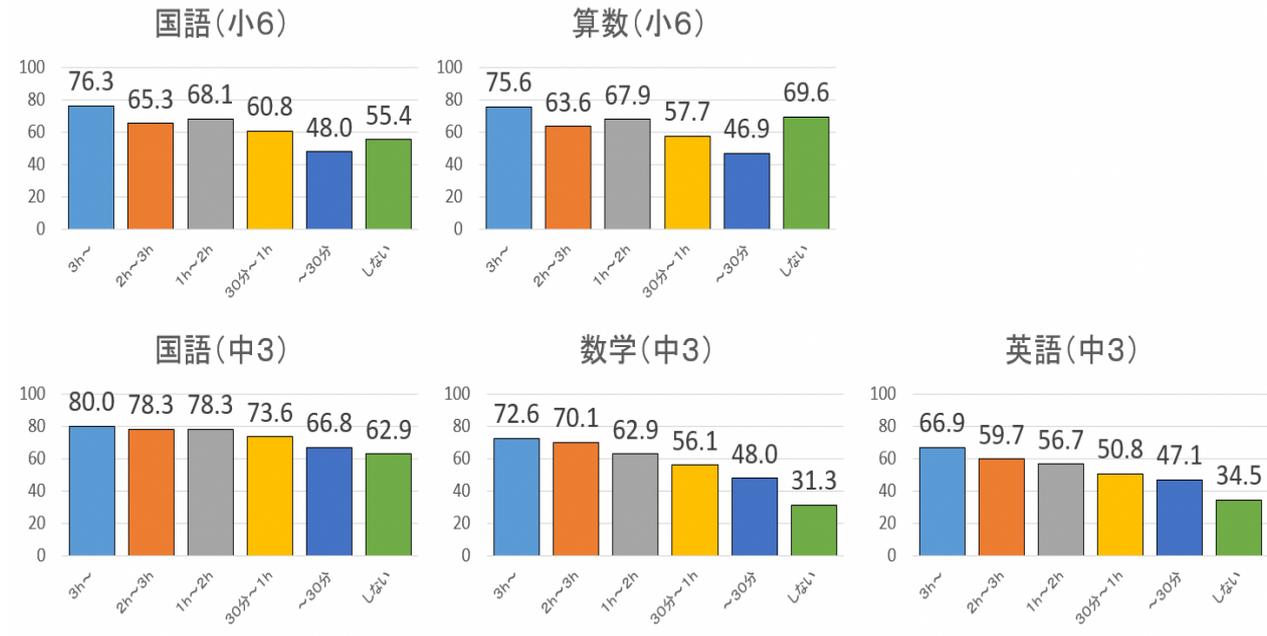


【同一集団の経年比較（折れ線は県平均）】

○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。

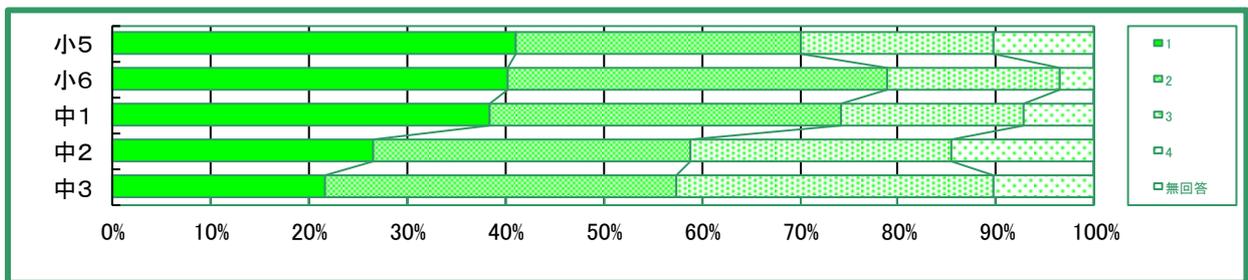


【参考】令和元年度全国学力・学習状況調査における学習状況（質問紙）の結果と学力の関係  
 ○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。



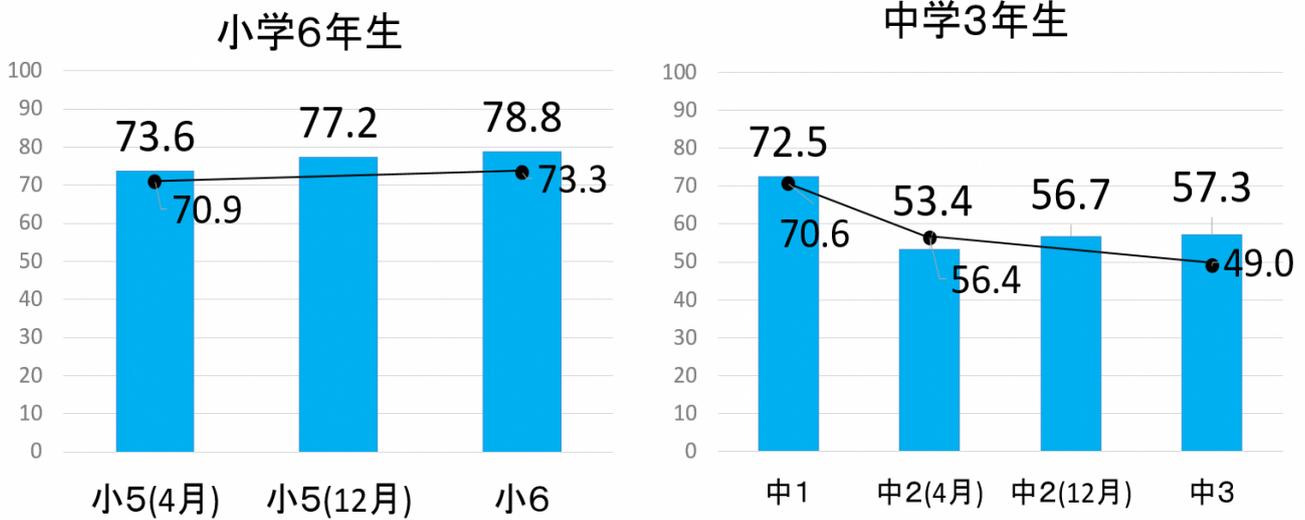
(オ) 家で、自分で計画を立てて勉強していますか。

	1 あてはまる	2 どちらかといえば、 あてはまる	3 どちらかといえば、 あてはまらない	4 あてはまらない	無回答
小5	41.0	29.1	19.7	10.2	0.0
小6	40.2	38.6	17.6	3.6	0.0
中1	38.4	35.8	18.6	7.2	0.0
中2	26.5	32.4	26.5	14.6	0.0
中3	21.6	35.7	32.3	10.3	0.0



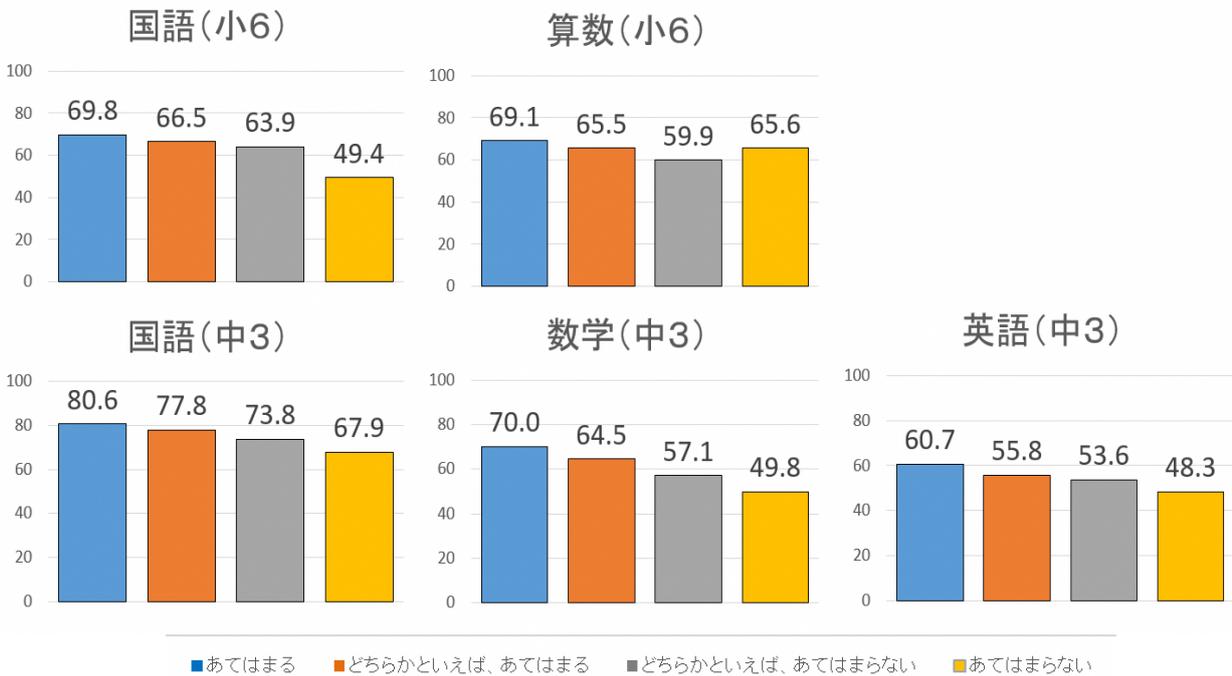
【同一集団の経年比較（折れ線は県平均）】

○自分で計画を立てて勉強しているか。



【参考】令和元年度全国学力・学習状況調査における学習状況（質問紙）の結果と学力の関係

○自分で計画を立てて勉強しているか。



## 2 学習状況調査のまとめ

「自分にはよいところがある。」と肯定的に答えた児童生徒は約8割程度である。「先生がよいところを認めてくれる。」と答えた児童生徒は約9割程度、「先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。」と答えた児童生徒は、小学校では9割以上と高く、中学校でも8割以上である。しかし、「授業以外に、1時間以上勉強している」と答えた児童生徒の割合はあまり高くなく、中学校で

は学年が上がるとともに割合が減っている。「自分で計画を立てて勉強している」と答えている児童生徒については、どの学年も昨年に比べて高くなっており、各校での子どもの計画力を高める取組の成果がみられる。学力をさらに向上させるためには、児童生徒が帰宅後の学習計画を立てたり、自分で課題を決めて自主学習に取り組んだりできるよう各学校での取組をより充実させていくことが有効であると考えます。瀬戸内市が進めている「主体的に学びに向かうことのできる子どもの育成」に向けて、「めあての質の向上」と「授業と家庭学習の連携」を軸に、さらに授業の充実及び子どもの計画力を高めるための取組を進めていきたい。